

所信表明

この度7月12日投開票の羽曳野市長選挙におきまして、市民の皆様をはじめ各方面の方々から多くのご期待、ご支援、ご厚情を賜り、7月25日に第18代羽曳野市長に就任させていただきました。

歴代市長をはじめ、市議会議員並びに多くの市民の皆様の並々ならぬご尽力により、幾多の困難を乗り越え、本市が発展してまいりましたことに深く感謝と敬意を表します。

課せられた使命の大きさと重責を厳粛に受け止め、市政発展に全身全霊を捧げる覚悟であります。どうか議員各位におかれましてもご協力賜りますよう心からお願いを申し上げます。

さて、現在わが国におきまして新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、本市におきましても8月30日現在で72名の感染者が確認されています。今もなお治療中の方々には一日も早いご快復を心から祈念申し上げます。このコロナウイルスは、いつ、誰が、どこで感染してもおかしくない状況でございます。感染された方やご家族に対し、SNS等の書き込みによる不当な偏見や差別、誹謗中傷やいじめは決して許されるものではありません。本市といたしましても大阪府、藤井寺保健所としっかりと連携し、正しい情報発信に努めてまいりますので、適切な対応を宜しくお願い致します。

これよりは、所信の一端を申し述べさせていただきます。

基本は先の市長選挙にて、市民の皆様と対話を重ね公約にも掲げましたマニフェスト（皆様との約束）の実行でございます。

これまでの慣習や型にとらわれることなく、将来を見据えて今なすべきことを臆することなく形づけることが求められています。

まずは「徹底した行財政改革」が必要です。本市は平成30年度、自主財源比率36.5%府内ワースト4位。市民一人当たりの自主財源額は府内平均19.6万円に対して7万円低い12.6万円。31市のなかでワーストとなっています。その他

にも経常収支比率 99.6%。市債残高約 377 億円と極めて脆弱な財政基盤であり、このままでいくと今後ますます厳しい状況になることから、財政基盤を強化すべく、今議会に上程をさせていただきました私自身を切る改革から始めたいと考えます。

内容としては本年度給与 50%削減し、来年度以降は 30%の削減と 4 年間での退職金ゼロを行います。

そして、給食センターや市民プール等の公共施設や現在進めているオキナチトセ等の事業については多額の税金投与が必要なため、徹底した議論のもと再検討いたします。

その他には、ふるさと納税の強化や総事業の見直しを行い、必要な財源の確保を行ってまいります。

次に「子育て支援・学校教育の促進」について

わが国を担う次世代の子ども達へ「教育の充実・教育環境整備・子育てをしたと思える環境づくり」への投資は必須と考えます。

1 点目は、子ども医療費助成を現況 15 歳のところ 18 歳までの 3 歳引き上げたいと考えます。

2 点目は、0 歳児から 2 歳児の保育無償化に向けて取り組んでまいります。

3 点目は、良い街には子ども達が笑顔で元気いっぱい遊ぶ姿があります。保護者からはボール遊びができる場所が欲しい。また、高校生からはスケートボード等が楽しめる場所が欲しい、など多くのリクエストがあります。こうした施設をつくることで、子ども達の運動能力やコミュニケーション能力の向上が図られるため、積極的につくっていきたいと考えています。

4 点目は、成長期の子ども達に食育の観点から、より栄養バランスの良い食事を提供すべく中学校給食の導入を目指します。その後、小学校・中学校給食の無償化を検討し、保護者の負担軽減を図りたいと存じます。

5 点目は、来年度より、児童生徒向けの 1 人 1 台端末が配布される予定です。これまでの実践と ICT とのベストミックスを図っていくことにより、これからの学校教育は劇的に変わります。社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性

を広げるため、教員がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう取り組みを推進します。

6点目は、人口減少のなかで避けて通れない学校区等の在り方です。まずは教育委員と将来を見据えた議論を行ったうえでの、協議会を設置する必要性を感じていますので、検討いたします。

次に「健康寿命延伸施策・福祉の充実」について

人生100年時代と言われる現代において、最後まで自分の足で歩きたい、元気でいたい、これは万人共通の願いであります。その思いに寄り添うべく以下の取り組みを進めてまいります。

1点目は、現在も各地域の会館で百歳体操など取り組んでいただいている団体等を積極的に支援したいと存じます。

2点目は、老々介護、独居の高齢化、認知症等々、今後ますます厳しい状況に対応するためサポート事業の強化をはかってまいります。

3点目は、循環バス停留所を増設し、日常生活をより快適に、社会とのつながりの場を広く提供できるよう、お出かけ支援の充実をおこないます。

4点目は、医療機関や大学などと連携し、病気の予防や健康の増進、病気の早期発見できる取り組みやこころの健康問題への対策を促進してまいります。

次に「交通・インフラ整備」について

本市は9年連続転出超過、5年間で4,000人以上が人口減少致しました。街の魅力高め、定住人口を増やしていくために本市の立地の優位性を活かした新たなビジョンが必要と考えます。

1点目は、用途地域の見直しを始め、これまで進まなかった駅前開発の検討を行い、企業数の減少に歯止めをかけ、積極的に企業誘致の実現に向けた環境整備を行いたいと存じます。

2点目は、市民の皆様から道路舗装をして欲しいとご要望を多くいただきます。私も意識して見ておりますと劣化が至る所で目につきますので、転倒防止、

安全確保の観点からも今後は道路舗装事業を強化してまいります。

3点目は、府道八尾富田林線の早期開通に向け取り組みを促進いたします。

4点目は、近年ゲリラ豪雨により想定を超える雨量の観測があります。家屋の浸水が起きないように整備を進めてまいります。

5点目は道の駅、西浦交差点の渋滞解決策の検討いたします。

次に「市民協働・安心・安全なまちづくり」について

新型コロナウイルスの影響で自宅にいる機会が増え、児童虐待が増えました。また、高齢者の方々は出歩く機会が減り、筋力が低下したとよく聞きます。それらに対応するため、以下の取り組みを進めたいと存じます。

1点目は、児童虐待から子どもの尊い命を守るため、虐待事案の未然防止、早期発見、早期対応できる体制の強化を行い、羽曳野警察署、子ども家庭センター等との連携強化することで子ども達を守りたいと考えます。

2点目は、ひとり親家庭の子どもの貧困や虐待が大きな問題となっています。夫婦が離婚しても、子どもは両親から愛情を注がれることで、経済面のみならず、精神面の安定も図られ、健全な育成が叶うとされています。離婚による子どもへの影響を軽減するために、養育費の支払いや面会交流が継続的にとりおこなえる支援体制を整え、離婚後の共同養育を推進してまいりたい所存です。

3点目は、防犯、防災対策の強化等を行うため、民間企業や各種団体と災害協定を積極的に結び、有事の際の不安解消を図ってまいります。

4点目は、地域清掃活動や子ども見守り活動など、地域コミュニティ活動を支援いただいている方々へアンケートを行い、支援の強化を検討してまいりたいと思います。

5点目は、防災対策の三要素である自助・共助・公助が充実することで、有事の際に被害を最小限に止めることができます。公助機能充実のため災害用備蓄物資の拡充や避難所機能強化を行います。共助機能充実のためには各地区の自主防災訓練の充実を促進してまいります。

6点目は、動物愛護に取り組むたいと考えます。先日、7地区長会を開催したところ、猫による苦情が多く寄せられており、そのほとんどは野外飼育や捨て猫

から繁殖した所有者不明猫による、糞尿被害やごみあさがり^{ゼロ}が問題でした。こうした声を受け、猫の殺処分^{ゼロ}の実現に向けたTNR事業推進を行ってまいります。

次に「魅力ある街づくり・大阪府、周辺自治体との連携」について

先日、大阪府議会において大阪市における特別区の設置についての制度案が可決されました。住民投票が可決されれば、大阪は大きく動きます。今後も広域連携を着実に進め、将来にわたるロスを防ぎ、将来の大阪、羽曳野市のあるべき姿を想定していく事が必要となります。

1点目は、私も府議会議員時代から取り組んでまいりました恵我之荘駅前広場の開発と郡戸大堀線の早期開通に向け、富田林土木と綿密な協議を行い、事業促進に力を入れてまいります。

2点目は、本市には素晴らしい農産物がございます。ぶどう、いちじく、碓井エンドウなど世界に誇れる品質でございます。大阪府環境農林水産部、農と緑の総合事務所とこれまで以上に連携を強化し、付加価値向上や販路拡大を図り、稼げる農業の実現に向け取り組みを促進いたします。

3点目は、世界遺産・日本遺産を活かしたまちづくりです。本市が有する歴史や自然、世界遺産・日本遺産のほか本市には環境農林水産総合研究所やぶどう・ワインラボにアニマルハーモニーに寺社仏閣などの素晴らしい財産があります。これまで以上にプロモーションを一層強化し、大阪観光局と共に羽曳野市、南河内の魅力発信を進めてまいります。

4点目は、市政運営の一番の基本となるのは職員であり、職員が未来の羽曳野について夢や目標を持ち、その実現のために知恵を絞り、談論風発^{だんろんふうはつ}の気風を作り、仕事に邁進していただく職場を作ることが市政改革の大きな基盤でありますので、その実現に向け取り組んでまいりますので、宜しくお願い致します。

その他にも役所のICT化等々、進める施策はたくさんございます。時代が急速に進展し、市民を取り巻く環境は大きく変化を求められ、向き合わなければならない困難な課題に直面をしているところです。

私たちは厳しい現実を正しく捉え、大阪府、周辺自治体と連携を強化し、山積する課題解決に臨むため、議会の皆様の議論を真摯に受け止めながら市民利益の徹底追及に力を合わせ取り組み、羽曳野市の明るい未来に向けて新たな道を切り拓いていくことこそ、我々に課せられた使命であると考えています。

議員の皆様には、今後ともご指導賜りますよう切にお願いを申し上げます、以上、所信表明演説とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。